

## 第九条の会ヒロシマ

世話人代表 岡本三夫(広島修道大学名誉教授)  
 連絡先 〒734-0015 広島市南区宇品御幸1-9-26-413  
 TEL 070-5052-6580 E-mail:fujii@jca.apc.org(藤井)  
 FAX 082-283-7789(佐々木孝)  
 ホームページ:http://9-hiroshima.org/  
 郵便振替 01390-5-53097 第九条の会ヒロシマ 年会費2,000円

憲法のつどい 憲法公布から64年

## 沖縄から見た平和憲法

## 日米安保の「いま」を問う



11.2 (火) 18:30~21:00

県民文化センター ホール

参加費999円

障がい者:高校生以下無料  
手話通訳・保育あり

議会の傍聴にも帽子を被っていく法学者の高良鉄美さん

講師:高良鉄美さん(琉球大学法科大学院長・憲法学)

主催:広島県9条の会ネットワーク

共催:ひろしま医療人・九条の会

高良鉄美 (たからてつみ)さんのプロフィール

1954年 那覇市生まれ

84年 九州大学大学院法学研究科博士課程修了  
琉球大学法文学部教員

2004年 琉球大学法科大学院教授 現在院長

1989年~91年 バージニア大学ロースクール客員研究員  
著書等

『僕が帽子をかぶった理由』クリエイティブ21 2009・10

『群読日本国憲法』監修 2007・5

『わたしの憲法手帳』4 沖縄県憲法普及協議会2006

『沖縄から見た平和憲法』未来社1997・8

執筆担当著書・教科書等

『米軍再編と前線基地・日本』木村朗編 鎧風社2007

『戦争で得たものは憲法だけだ』落合恵子・佐高信編  
七つ森書館 2006『沖縄を平和学する』石原昌家・仲地博・ダグラスラミス編  
法律文化社 2005

私たちにとって憲法公布から64年、でも沖縄では復帰72年から38年。しかも日米安保・日米同盟が立ち上がり、普天間は返還されず、基地被害、拡張・強化に悩まされ続けています。平和憲法が活かされているとはいえない沖縄から平和憲法はどうみえるのでしょうか。

8月末、『平和創造国家』をめざすという安保懇報告書が出されました。(詳細は3ページ) 自衛隊を海外に次々と派遣し、米軍基地の強化を進めて核廃絶などありえません。密約を公開して終わりにさせず、非核三原則の法制化を進めましょう。

高良鉄美さんは、一原爆と9条、平和は緊密に結びついている。憲法の届かない復帰前の米軍統治下の沖縄では、広島、長崎の原爆展を開催した琉球大学の学生数人が結果的に退学になった。平和主義、学問の自由、大学の自治、表現の自由からいうと、まさに憲法で保障された人権であるにもかかわらず、復帰し、現憲法下の今でも退学のまま、名誉回復もされていない。アメリカの原爆に対する考え方は、スミソニアン博物館で原爆展が中止に追い込まれたように、当時も今も変わっていないのかもしれない。日本の平和憲法の深層には原爆と沖縄戦の問題が絶対にある—とされています。いまこそヒロシマと沖縄をつなぐときです。

お誘いあわせの上、どうぞご参加ください。

## 会報67号 目次

1	11・2 憲法講演会のお知らせ	
2	巻頭言	岡本 三夫
3	日本の防衛政策 安保懇報告の危険性	高田 健
4	シロタ家の20世紀に取り組んで	小笠原伸江
5	7・24 西部住民の会 安次富浩講演会報告	西浦 紘子
6~7	愛宕山に米軍基地はいらない	廣兼 隆充
8~9	8・6新聞意見広告報告 会計報告	佐々木孝・藤井純子
10~11	皆さんからのメッセージ	佐々木 孝
12~13	上関原発止めよう!	
14	ベトナム・カンボジア学習の旅	栗原 君子
15	岡本非暴力平和研究所からのお知らせ	活動報告
16	お知らせ、お詫び、後記	

# 【巻頭言】一なぜ、私たち市民は上関原発に反対するか？

## 原発は「未来の夢」か「過去の悪夢」か

岡本三夫(第九条の会ヒロシマ・世話人代表)

かつて原発は「理想のエネルギー」「未来の夢」としてもてはやされた。「角砂糖1個分の原発エネルギーでマイカー1年分の燃料となる」とも言われた。原子エネルギーとガソリン(石炭や石油などの化石燃料も含め)を単純比較すれば、まったくその通りである。驚異的な科学的真理であることに間違いはなかった。こうした原発産業界の巧みな宣伝に世界中が有頂天となり、各国議会が原発の導入を最優先政策として議決、推薦した。日本では若き日の中曽根康弘代議士が原発輸入の旗振り役を演じた。

「各家庭の電気代もタダ」になるはずだった。米国では“Too cheap to meter”―「安すぎて(too cheap) 料金計算すること(to meter)さえできないとされ、人びとは「未来の夢のエネルギー」に心をときめかせた。原発による超安価な電気の供給で深夜のニューヨーク市その他の大都市も昼間のように輝き、世界は理想郷(パラダイス)になるはずだった。「原発は人類にたいする神様からの最良の贈り物」だと真顔で信じられた。

このような希望と信仰の雰囲気の世界中を駆け巡り、米国では東海岸から西海岸の大都市近郊に原発が建設され、原発は英国、ドイツ、フランスなどの西洋諸国へ、日本、韓国、台湾、フィリピンなどのアジア諸国へ、大量輸出された。日本もまた、諸国の原発エネルギー政策に遅れをとるまいと躍起になった。

転機が訪れたのは米国の「スリーマイル島原発事故」(1979年3月)とソ連の「チェルノブイリ原発事故」(1986年4月)だった。「スリーマイル島原発事故」の新聞報道は連日1面トップ。衝撃の大きさは明白だった。数年後に私もスリーマイル島近辺を訪れたが、事故の後、人間を含む動植物の二世、三世に異変が生じたことなど、隠蔽されていた報道についても知った。

これらの「苛酷事故」以前、原発産業界(主として電力会社)の宣伝文句は、「原発事故は流星が地球に命中する確率以下」だった。が、わずか7年程度の短期間に2つもの大事故が発生した。原発は「未来の夢」どころか、「過去の悪夢」に転落。天使が悪魔に変身したようなものだ。

原発産業界は巧みな宣伝ばかりか、巨額の補助金、マスコミ対策費、賄賂を惜しげもなく使い、原発推進の世論を誘導し、原発反対派を孤立化させてきた。『シルクウッド』というメルル・ストリープ主演の米映画では、原発

の危険を告発する主人公の女性が自動車事故を装った事件で文字通り「消されてしまう」原発告発映画があった。原発の危険性を訴える高木仁三郎ら少数の良心的科学者たちは白眼視され、テロリスト扱いされた。

いま、中国電力は瀬戸内海に面する山口県上関町に新たな原子力発電所の建設を計画中だが、町内を二分するほどの根強い反対運動が繰り広げられている。原発から放出される温排水によって海水温度が上昇し、漁業ができなくなることも強い反対理由の一つ。漁業で生計を立てている人びとにとっては死活問題だ。原発は放射性物質(トリチウム等)を海中に放出するから、一帯は「死の海」と化してしまう。加えて、原発建設予定地の地下には活断層が存在する疑念も濃く、「原発苛酷事故」が起こる危険性もある。岩国米空軍基地が比較的近いところにあることも市民の懸念を増大させている。これまでの例から言っても、原発への米軍機墜落事故による大破局さえ決して予想できないことではないからだ。

原発が危険であり、不経済的であり、環境破壊的であるという事実から、脱原発のオルタナティブな選択肢が真剣に模索され、現在では太陽光エネルギーや風力エネルギーや波力エネルギーなどが安全で持続性のある代替エネルギー源として導入され、またそれらの将来性が有望視されている。まさに、原発は「過去の悪夢」であり、オルタナティブなエネルギーの「明るい未来」を創造することが求められているのである。原発と原爆は表裏一体。共に人類との共存は許されない。



8月6日 原爆ドーム前で意見広告を配布

# 「政権交代」を機に、安保・防衛政策の基本的転換をねらう企て

高田 健（許すな！憲法改悪市民連絡会）

政権与党の民主党代表選の終盤の9月10日、同党政権下ではじめての「防衛白書」が防衛省から発表された。「白書」は日米同盟の強化と在沖繩米軍海兵隊の抑止力としての役割の積極的な評価、イラクへの自衛隊派兵の評価など、従来の民主党の主張とは異なる多くの問題を含んでいる。わけても、「白書」は8月27日、菅直人首相の私的諮問機関である「新たな時代の安全保障と防衛力懇談会」（座長・佐藤茂雄京阪電鉄代表取締役CEO）が提出した「新たな時代における日本の安全保障と防衛力の将来構想—『平和創造国家』を目指して」の要約を無批判に掲載した。これは民主党内閣のもとで年末に予定される「防衛計画の大綱」策定の基本姿勢が示されたものとして見逃すことができない。

この懇談会は政権交代を果たした鳩山由紀夫内閣が2010年2月に組織したもので、「現在の防衛計画の大綱」の見直しについての提言を受けるために組織されたもの。

「防衛計画の大綱」（防衛大綱）は1976年の三木内閣において定められ、以降5年ごとに定め直されてきた。大綱は当面する防衛力の基本方針と自衛隊の主要装備調達計画などを決めるもので、94年以降は「有識者」による懇談会をつくり、その報告書によってとりわけ第9条を中心とする憲法解釈の突破がはかられ、権威づけられてきた。前回の防衛大綱は小泉内閣時代の2004年に策定され、5年後の09年には新大綱が策定される予定であったが、「政権交代」の結果、それを1年のばしにして、今年末を目指して策定にのぞもうとしている。

三木武夫内閣の下で策定された76年の大綱は、歴代自民政権のもとで拡大し続ける軍事力に一定の枠をはめるということを大義名分にして、憲法第9条のもとでの必要最小限の防衛力の保持、「基盤的防衛力構想」という考え方がうちだされ、防衛費もGDP比1%以内とすることなどが決定された。しかし、これは際限のない軍拡に歯止めをかけるという看板とはうらはらに、拡大する自衛隊の現状を合憲化する解釈改憲の容認という側面を持っていたし、当時はGDPが年々拡大していたこともあり、軍拡の動きを促進する側面があったのであるが、一方、憲法9条が生きて現実政治に影響力を発揮していたことの証左であるという側面は否定できず、軍拡論者の怨嗟的にもなってきた。

小泉純一郎内閣のもとで作成された「04大綱」は、「日米同盟」重視の名の下にブッシュ米大統領の反テロ戦争、先制攻撃戦略に追従し、米国の世界戦略を積極的に補完するため、従来からの「基盤的防衛力構想」を全く否定しはしないものの、「多機能で弾力的な実効性を有する防衛力を整備する」とこととされ、「基盤的防衛力構想」の足下の掘り崩しをねらったものであった。そして安倍晋三内閣の下で06年12月に、自衛隊の本務を従来の「国防」だけでなく、「海外派兵」を加えるとする防衛庁設置法改定・自衛隊法が成立し、防衛庁は防衛省に格上げされ、海外で活動する自衛隊への変質が合法化された。今回の懇談会報告書は政権交代を、米軍、財界や防衛官僚の意を受けて「これまでの政策の不合理なところを見直す絶好の機会」としてとらえ、従来、「基盤的防衛力構想」に示された憲法の前文と9条に代表される平和原則のしほりを受け、歯止めとなってきた諸原則を全面的に否定し、転換するという野心を露わにしたものである。

報告書の主な問題点はとりわけ以下の諸点である。

- ① 軍拡の一定の歯止めになってきた「基盤的防衛力構想」の全面的否定
- ② 自衛隊が外国のミサイル攻撃から米艦船や米国本土を防衛できるなどとする、集団的自衛権に関する従来の憲法解釈の見直し
- ③ 海外での自衛隊の戦争行為を容易にするPKO5原則の修正と自衛隊海外派兵恒久法の制定
- ④ 財界の要求に応える武器輸出3原則の見直し
- ⑤ 事実上の非核2・5原則化をねらう非核3原則の将来的な見直し、などなど。

これらの諸原則は従来の国会などでの論議を経て、いずれも「国是」とされてきたほどの、わが国の安保・防衛政策の基本中の基本というべきものである。報告書は、これを変えることで憲法9条のもとでの「受動的な」「平和国家」から、「日米同盟」のもとで自衛隊を武力による「能動的な」「平和創造国家」に全面的に転換させようとする極めて危険なねらいを示したものである。代表選を経て、民主党政権が安保・防衛政策で今後どこへ進もうとするのか、市民の監視を緩めることはできない。

2010年9月12日



# 愛宕山に米軍住宅はいらない

## — 愛宕山開発事業取消訴訟原告となって

廣兼 隆充

### <私が原告になることを決意した理由>

なぜ、私がこの裁判の原告になったのは、私が自治会長をしている2005年10月に米軍再編中間報告で米空母艦載機が厚木から岩国への移転計画が発表されました。それに対し、私たちは、住民投票などで反対の意思を表しましたが、2006年5月に最終報告が閣議決定されてしまいました。その後、愛宕山開発事業の方向性が180度変換され始めたからです。

### <愛宕山とは>

愛宕山には私の先祖代々の土地があり、私はそれを受け継いできました。かつては、私たち家族だけではなく近所の人たちもそこからたきぎを拾って竈にくべたり、お風呂を焚いたり、ほとんどの生活に使っていました。

愛宕山はもともと標高120m余でその山頂には、数百年前に京都から分社した由緒ある愛宕神社があり、牛野谷、門前、尾津などの愛宕地区や平田地区の「鎮守の森」として、皆から愛されていました。地元の人は正月には初詣に出かけ、春には愛宕様祭として、奉納相撲が行われ、家族・親族がこぞって、重箱にごちそうを詰めて、相撲と花見をかねて楽しんだ「鎮守の森」です。

また、私たちが子どもの頃から、春には蕨やぜんまいなどの山菜を、秋には松茸をはじめとするきのこを採り、山で鬼ごっこや陣取りごっこなどをして慣れ親しんだ里山です。愛宕山地域住民にとって、山が削られる直前まで、愛宕山は私たちの信仰の場であると同時にコミュニティの中心だったのです。

### <山口県住宅供給公社の突然の訪問>

その私の所有している愛宕山の土地が、愛宕山新住宅市街地開発事業の事業地となったのです。私の所有する土地は西工区の一番端にあたるのですが、1997年から土地(愛宕山)の買収が開始され始めたのですが、山口県住宅供給公社は地権者を集めて説明会を行ったりはせず、すべて個別に対応していました。ですから、私の所に山口県住宅供給公社の職員がやってくるまでは、私の所有する土地が事業地に入っているかどうかすらもわからない状態でした。1997年12月に、突然「山口県住宅供給公社・岩国事務所用地課」から、2名の職員が私の所に説明に来られました。そのときには現在私たちは持っているようなパンフレットはなく、具体的なことが書かれている資料も一切無く、すべてが口頭での説明だけでした。

### <愛宕山開発事業の当初の目的>

山口県住宅供給公社の職員が、私に私の所有する土地を売却するように求める理由は以下の通りでした。「この事業は岩国市民の悲願である騒音軽減と米軍機の危険を回避し安全・安心

を担保する為、米軍基地の滑走路を1キロ沖合に移設する直轄事業である。そのための土砂を愛宕山から搬出したい」というものでした。

さらに、土砂を搬出した後には、岩国市の暮らしの未来へ向けた21世紀型多機能都市が誕生するという夢のあるばら色の説明でした。この愛宕山に、新しい岩国のシンボルとして理想的な町ができるのだということです。

### <売却を了承した理由>

その説明を受け、私も米軍基地から直線距離にして約800mの川下中学校に通学しておりましたので、米軍機の離発着時には授業にならないほどの騒音を経験しており、現在でも川下地区の同級生や友人からも電話も聞き取れないという苦情を数多く聞いています。そのような友人のことを思うと、騒音の軽減、安心・安全の為に協力しなければならないと思いました。また、私たちの牛野谷地区には小学校がなく、この地域の子どもたちは愛宕小学校と岩国小学校の2つに分かれて通っています。子どもたちが40分もかけて通学している姿を見て、愛宕山に新しい小学校ができれば、子どもたちが通いやすくなるということも思い、私たちは職員が説明したような夢のあるバラ色の町ができるのだと信じて疑いませんでした。だからこそ、先祖代々の土地を手放すことを覚悟して「土地売買契約書」を交わしました。

しかも、この事業を行うのは、民間企業ではなく、山口県と岩国市という行政が行うのですから、市民の生活を司る行政が、このような無責任な形で事業が中止されるなどとはそのときは夢にも思いませんでした。それだけではなく、もしそのときに、米軍再編で米空母艦載機が移転して、愛宕山に米軍住宅ができることがわかっていたら、170名の地権者の殆どが同意していなかったでしょう。今になって騙された、詐欺にあった思いでいっぱいです。

ですから、愛宕山にアメリカ村ともいえる米軍住宅はいりません。そこで、2008年7月に「愛宕山を守る会」を発足し、私も世話人に加わっています。

### <私たち旧地権者には優先購入権が認められているはず>

私たち170人の旧地権者の中には、先祖代々の土地を売り渡したくなかった人もいますし、せめて、愛宕山に新しい住宅地が出来た暁には、その一部を先祖から譲り受けた土地として所有したいと願っていた人もいます。実際に、山口県住宅供給公社に交渉をした人もいると聞いています。

ですから、私たち旧地権者には、優先購入権が認められているはずで、本来、本事業が続けられていれば、私たち旧地権者

の内、本事業地に居住し、又は、事業を営んでいた原告は土地を優先的に購入する権利を有しているのです。けれども、山口県住宅供給公社は「土地売買契約書」及び「物件の取得に関する契約書」にはそのことは一切表記せず、私たちはその権利が剥奪されているのです。本事業認可が取り消されてしまえば、私たちは本来受けるべき優先購入権を奪い去られてしまうのです。

### <行政による裏切り>

私たち旧地権者をはじめとする地元住民は、山口県・岩国市・山口県住宅供給公社という行政の説明を信じたからこそこれまで協力してきたのです。まさか、行政が私たち市民を裏切るとは思っていませんでした。それは、毎年1回、山口県住宅供給公社が「見学会」と称して、私たちに本事業の進み具合を説明してきました。ですから、私たちはその都度、最初に私たちが説明を受けて来たとおりに本事業が進められていると信じてきたのです。

そのような中であって、沖合移設事業の土砂搬出が終わるなり、赤字解消の努力をまったくすることなしに、国、しかも防衛省に売却するために、本事業認可を取消したことは、まさに行政による私たち旧地権者を含む地元住民への裏切りなのです。

### <愛宕山に米軍住宅が建てられてしまったら>

私たちが一番心配しているのは治安の悪化です。沖縄や各地の基地周辺では事件、事故が相次いで起きています。もし、愛宕山に米軍住宅が建てられてしまったら、現状より心配事が増える方向になるのは間違いないことです。私たちの世代で、ただ安易に赤字の出た開発の一時的な補填のために、愛宕山を国に売ってあてるということは、子孫代々に大きな負の遺産を残すこととなります。私は、私たちが土地を売ってしまったためにみんなに迷惑をかけてしまうという良心の呵責を感じております。

また、私たち地元住民はこの事業が始まるとき、数百年にわたって地域の信仰とコミュニティの中心であった愛宕神社の移転にも断腸の思いで応じて来ました。このままでは、新しい御社の隣に米軍住宅のフェンスが作られることとなります。私たちの生活を守るはずの神社は米軍に囲まれることとなります。神様も新しい御社が米軍住宅のフェンスで囲まれてしまえば、安心して鎮座することもできないでしょう。今でも子ども相撲が行われているところに米軍住宅など考えられません。

### <鎮守の森を返せ！>

私たちは、本事業認可を取り消し、国に売却することによって、愛宕山がアメリカ村になるくらいなら、桜の名所であったお山を元の位置に戻して、「鎮守の森」を私たちに返してもらいたいという思いが募るばかりです。

私たちは、愛宕山訴訟において、私たち地元住民の素朴な感情や旧地権者の心情を心に留め、厳正かつ公平な司法の判断を求め、これからも取り組んでいきたいと思っております。

岩国では、「騒音と墜落の軽減」を目的に1996年から沖合移設事業が開始され、その埋立用の土砂を搬出するために愛宕山が削られた。そして、削られた愛宕山には21世紀型の新しい町を造るために「新住宅市街地開発法」に基づいて「愛宕山開発事業」が進められた。しかし、埋立用の土砂を搬出し終わったとたんに関西と岩国市は赤字を理由に「愛宕山開発事業」の中止を決定した。しかし、新住宅市街地開発法には事業廃止の規定はない。

けれども、中国地方整備局は山口県から出された愛宕山開発事業認可の取消の承認申請を簡単に承認してしまった。これは明らかに「脱法行為」である。そこで、2009年7月30日、愛宕山周辺住民19名が原告となり国(中国地方整備局)を相手に愛宕山開発事業認可取消処分取消請求訴訟(行政訴訟)を広島地裁に提訴した。

現在岩国市と山口県は愛宕山開発事業跡地を国(防衛省)に売却し、米軍住宅に転用される動きが出てきたため、2008年7月には愛宕山地域住民が愛宕山を守る会を発足し、2009年4月には、11万人の反対署名を日本政府に提出するなど、「愛宕山に米軍住宅はいらない！」と反対の声を上げ続けている。にもかかわらず、昨年末2010年度予算に愛宕山買取費用199億が計上され、今年3月、榛葉防衛副大臣が岩国市議会全員協議会において「愛宕山を軍再編関連用地として買い取りたい」と明言した。それを受けて、愛宕山を守る会では、8月21日から毎月1日、11日、21日に愛宕山開発事業跡地見守りの集いをはじめた。9月3日には榛葉防衛副大臣が山口県と岩国市に対し愛宕山開発事業跡地の利用概要を説明に訪れ、9月7日には岩国市全員協議会において、東工区には運動施設エリア、西地区には低層型の将校用の米軍住宅270戸の建設概要を示した。

くしくも、9月7日には愛宕山地区の牛野谷で愛宕山を守る会のメンバーが米軍属の運転する乗用車にはねられ、亡くなるという痛ましい事故が起こった。被害者の恩田美雄さんは9月7日当日は全員協議会を傍聴する予定だった。9月8日になって米軍は、米軍属が通勤途中であることを理由に「公務中」と発表した。これによって、日米地位協定17条3項に基づき第1次裁判権がアメリカ側に移ってしまい、日本の司法で公正な判断ができなくなった。もし、愛宕山に米軍住宅が建設されてしまえば、このような事故が増える可能性が高くなる。亡くなられた恩田さんの意思を尊重する意味でも、愛宕山を米軍に提供させない！愛宕山に米軍住宅はいらない！という声を全国化していかなければならない。

## 「シロタ家の20世紀」上映会に取り組んで

小笠原伸江(女性9条の会ひろしま)

「女性9条の会ひろしま」は、第九条の会ヒロシマの皆さんと共催で、当会結成4周年事業として映画「シロタ家の20世紀」の上映会を開催することができました。この映画の上映に取り組むことになったのには、いささかの経緯がありました。第9条の会ヒロシマの藤井純子さんから「カナリア諸島のテルデ市にある『ヒロシマ・ナガサキ広場に憲法9条の碑があり、その建設に尽力したマリアさんが8月6日頃広島に来るので、その対応を『女性9条の会ひろしま』でできないか」との申し入れがありました。さらにお話を伺うと、その碑は藤原聡子監督の『シロタ家の20世紀』という映画の最後に紹介されているので、映画の上映とマリアさんのお話をセットにしたらどうか、などと発展します。

「シロタ家の20世紀」のパンフをとりよせてみると、この映画は「ベアテの贈り物」の第2弾とでもいえる内容で、憲法9条を守る当会の目的にぴったりの内容であることが解り、ぜひこの映画の上映を当会結成4周年記念の事業にしたいとの思いが強くなりました。

8月7日当日は、当初の『マリアさん来広』は叶いませんでしたが、125人の参加者が藤原監督のお話を聞いて、『シロタ家の20世紀』を觀賞するというすばらしい内容のつどいにすることができました。

会終了後の昼食会では、藤原監督から「ベアテさんが、8月7日という原爆投下65周年の翌日に広島でこの映画が上映されたことをとても喜んでいる」というお話を聞き、つどい開催までの疲れが吹き飛ばすような喜びを感じました。

この映画は、シロタ家の人々の優れた才能が、ユダヤ人であるがゆえにあの戦争で翻弄され、ふみにじられたことを綿密な調査と驚くべき構成力で事実にもとずいて淡々と表現しつつ、戦争という犯罪を静かに考えさせてくれます。

シロタ家と日本の縁は、ベアテさんが日本国憲法24条成立に貢献したというだけでなく、山田耕筰の招きで来日し、17年の長きに亘って日本の音楽会に貢献し、多くの音楽家を育てた世界的なピアニスト、レオ・シロタが始まっていたのでした。その存在がなければ、いまの日本の音楽会は違ったものになったであろうといわれるレオ・シロタも第二

次世界大戦の中では、官憲の監視下におかれ、ベアテさんは、安全のために米国に逃れ、一家はバラバラになったのでした。

レオシロタの兄弟たちも、ポーランド義勇軍に身を投じて戦死し、政治犯刑務所で行方不明に、アウシュビッツに送られ命を絶たれるなど、数奇な運命を辿りました。映画はこの一家の足跡を、ウクライナ、ワルシャワ、カナリア諸島、ノルマンディ、パリ、と辿り、多くの人々の協力を得て、まるで複雑なジグソーパズルを完成させるかのように構成しています。たった一つの家族の物語が20世紀のヨーロッパの歴史を見事にあらわしていること、そして今こそ日本国9条を世界に広げる必要性をみるものに伝えてくれるのです。ベアテさんは「日本の憲法は押し付けではない。押し付けは悪いものを無理強いするときの表現で、良いもの場合は使わない」とさりげなく言います。世界に誇る『戦争放棄』を謳った第9条の重要性をベアテさんは強調するのです。

この映画が、レオシロタの愛弟子であったピアニストの藤田晴子さんが「文化事業のために役立ててほしい」と願って遺された資金で作られたことも、シロタ家からの私達への『ベアテの贈り物』に継ぐ第2の贈り物であることを表しているのではないのでしょうか。

この映画が、今回だけでなく、この広島の地で何度も上映され、多くの方に觀賞してほしいと切に願っています。



## 手をつなぎ、非暴力を貫く姿勢こそ市民のちから

西浦紘子(岩国基地の拡張・強化に反対する広島県西部住民の会)

去る7月24日、廿日市の商工保健会館交流プラザにおいて標記のテーマで、集会を開催した。講師に沖縄ヘリ基地建設反対協議会共同代表の安次富浩さんをお願いし、「沖縄・辺野古の闘いと在日米軍再編」という講演題でお話しいただいた。安次富さんたちは2004年からテントで座り込みを続けていて、陸上、海上で阻止行動を展開し、ボーリング調査用の杭一本すら打たせていないという実績をもっている。

◆その実績に基づき「米軍への思いやり予算を含めて、日本政府の至れり尽くせりの態度・姿勢こそが、米軍が出て行かない理由だ。沖縄にもヤマトにもどこにも米軍基地は要らないという民衆の不屈の意志をアメリカ政府に突きつければ基地は撤去できる」という強くはっきりした意見を述べられた。会場からは、安次富さんのスカッと明るい話しぶりと相俟って拍手が起きた。

安次富さんたちの「何故、辺野古新基地建設反対闘争を闘うのか！」という行動の基本姿勢は、沖縄戦の体験、その後の米軍植民地支配下での生活から生まれ育った「平和を創りたいから」という一念であるという。その姿勢がどのように具現化されているかは、次に話された岩国の「愛宕山を守る市民連絡協議会」代表の岡村寛さんのアピールから知ることができた。岡村寛さんからは、岩国の現状をお話しいただくと共に、沖縄を訪問し、そして得られた果実をお聞きした。特にこれだと言えるのは、〔非暴力〕に徹することであったという。そしてそれは最近広く呼びかけられている「開発跡地見守りの集い」に結実している。8月21日より、『一』の

◆付く日は愛宕神社前へ！ 開発跡地見守りの集いを開催し、神社前広場で定例の座り込みをして粘り強く「米軍住宅化反対」を訴えていくという。古くはインドのガンジーの非暴力運動、このたびの講演でも話された沖縄・辺野古での2,300日に及ぶ座り込み、すぐ近くで行われている上関・祝島で28年続いている座り込み、これらはお金も権力もない市民の最高の最良の手段だ。ふと見回すと、私たちが連なっている第九条の会ヒロシマの代表である岡本三夫さんが主宰されているのも「岡本非暴力平和研究所」である。

この講演会で私たちは、辺野古の運動のためにメッセージ布(檄布というそうですね。でも怖いイメージがあるので使いたくない。)を準備した。1.5メートル四方ほどの黄色い布で、予めミシンが上手な会員の方に縫製し結び紐をつけてもらい、絵心のある会員の方にこの集会の名称や象徴的

な絵を描いてもらった。私たちはなかなか辺野古までいけないからこの布を通して共に行動することを示させてもらった。後日沖縄のキャンプシュワブ・ゲート前での行動に早速この布がフェンスに張られていることをメールで知った。更に友人と発見したことは、集会の名称の一部である「広島県」を抜かしていたので描き加えたのがひどく目立っていて、正に瓢箪から駒という感じで存在をアピールしていた。市民運動って楽しくやらなくっちゃねと再認識した。安次富さんのお話しだって「沖縄から、日本から米軍基地をなくそう」という政府にも言う大きなものであったが、決して悲壮な感じはなかった。カラリとした沖縄の太陽の光が感じられた。一緒に続けよう、それが人を呼び寄せる、感動となる、運動の力となるという強い呼びかけに、非暴力で一緒にやっ払いこうという願いが会場の中いっぱい広がった。皆で手をつなぎ、暴力や武器にたよらないで、あきらめないで明るく行動していこう！こんな気持ちに満たされた集会だった。安次富さん曰く「広島は沖縄よりあついですなあ」。そうです、会場は、安次富さんと岡村さんの話しに暑い上に更に熱くなったのです。

(追記) 岩国の新滑走路は5月24日に運用が開始され、これまで禁止されてきた2機編隊による離発着訓練までも行われるようになった。また愛宕山開発跡地に防衛省は199億円の予算を計上した。9月3日には榛葉防衛省副大臣が山口県や岩国市に赴いて跡地利用計画を説明している。これまで以上に、政府は歯止めのない実績作りでことを粛々と推し進めようとしている。私たちは直一層の情報の共有化をもって対処していかなければならない。



## 8・6新聞意見広告2010 ご参加、ご協力、ありがとうございました

8・6新聞意見広告2010は、皆さまのお陰で8月6日読売新聞大阪本社版朝刊に15段 5段を読売新聞山口全県版、毎日新聞東京都心版に掲載することができました。そして今年も、8月6日早朝、原爆ドーム付近で意見広告のコピー3000枚を、全国から、世界中からヒロシマに来られた方々に配布しました。ご参加、ご協力下さいました皆さま、本当に有難うございました。

今年5月、改憲手続法が施行されました。既に有事に備えるとして防衛を逸脱した空母建設、ミサイル防衛網のために巨額の予算を組み、「海賊対処」を口実に海外に基地を建設、はたまた災害に対してまで武装した自衛隊を派遣し、軍事的、派兵大国化へとエスカレートさせようとしています。武器輸出三原則の緩和、原発輸出など経済界の要請で、この上もなく危険な方向に向わせようとしています。武力の行使をさせない9条の重しを取り払おうとする改憲は、その危険な動きを格段に進ませるのではないかと危機感を覚え、今年も意見広告に取り組みました。

多くの市民は、軍事強化は戦争を呼び、自由が奪われ、生活が困窮することを知っています。米軍機が日本から飛び立つことも、自衛隊を海外派遣させて自分たちが加害者になってしまうことも決して望んでいません。私たちのこの意見広告が、日本を軍事化させない世論を高める一助になればと願っています。今回も、多くの方々、グループが協力して下さいました。第九条の会ヒロシマ世話人一同、1700人の賛同して下さいました皆さまのご支援、ご協力に、心より感謝致します。

読売新聞の購読者から次のようなメールが来しました。

兵庫 西田さんより -----

今朝の読売新聞で貴会の意見広告を拝見し、日本の米軍に対する予算の大きさを見て改めて考えさせられました。日本を守るためという大義名分があるのですが、こんなことよりもっと国内で困っている人を助けるためにお金を使えないかと憤りすら感じられました。

私は去年ヘルパー2級を取得し、現在有料老人ホームで働いています。人手不足ゆえに過酷な勤務や指導という名の下でのパワーハラスメントが横行しています。ある日通勤途中で倒れ、救急搬送されたものの幸い入院には至りませんでした。お医者さんにかかり、ストレスが原因だったことが判りました。

軍事費よりも、あの戦争を生き抜いてきた方々が安心して老後を暮らせるように施設を充実させ、介護を魅力的な仕事にするために待遇を改善して、人のお世話をするのは素晴らしい仕事だと言えるように予算を割り振ってほしいと切に願います。また、私は就職氷河期で派遣社員としてしか就職ができなかった身ですが、若い人が人生設計を立てられるような施策にも同じように重点を置いてほしいと願っています。

今日NHKで放送された吉永小百合さんの番組を見ましたが、見ていて本当に胸がいっぱいになりました。小中高の教科書でも繰り返し戦争のことを学んできましたが、番組から、戦争は人と人のつながりを奪い、不幸にする手段でしかないということがひしひしと伝わってきました。最後に私にとって憲法9条は、「人々の平和とつながりを守る合言葉」です。

-----  
西田さん、ご意見、ご感想を有難うございました。

皆さまのご意見を心より、お待ちしております。

掲載に間に合わなかった方のお名前です。(敬称略、順不同)

富山洋子、一樋義明、斉藤真紀子、坂和優、平田香都子、酒井由布子・山田育子・山田祐也・貴志、小林美佐子、遠藤和之、中嶋典子、海切健次、山川賀世子、金剛静慧、上田律子、小川和美、中市後千秋、山田忠文、前田恵子、福崎裕夫、林田史朗、中嶋典子、丹邦子 他匿名3人 (9月10日現在)

なお、振替用紙など何度も確認・校正を繰り返しましたが、それでもまだ、お名前の掲載における間違いがあるかもしれません。ご連絡いただいた方のお名前は、会報次号でお詫び、お知らせをさせていただくことでお赦しください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 2010年度 8・6新聞意見広告 会計報告

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
新聞意見広告賛同金	3,010,100		意見広告料	3,088,050	読売新聞大阪本社版(全15段) 2,489,800円、読売新聞山口全県版(全5段) 308,700円、毎日新聞都内版(全5段) 309,750円
前期繰越金から	584,997		制作費	160,000	制作費(紙面デザイン、レイアウト)
			通信費	65,000	ヘルプハガキ
			印刷費	130,875	チラシ(2万枚+3000枚) 128,415円、その他印刷費2,460円
			意見広告紙コピー	38,942	3,300枚
			送料	42,130	メール便、宅急便
			事務局費	67,000	名簿作成料20,000円、室料12,000円、交通費35,000円
			雑費	3,100	事務用品
収入合計	3,595,097		支出合計	3,595,097	

## ご意見やご感想をハガキでお寄せください！

今年の意見広告はいかがだったでしょうか？ 同封したコピーをご覧の上、ご意見やご感想をハガキに書いてお寄せ頂ければ幸いです。

★アンケートはがきには、

- ・紙面(レイアウト)・内容(主張文・メッセージ)はどうだったか
- ・8・6新聞意見広告を今後も毎年、続ける方がよいか、どうか
- ・意見広告へのご意見、ご感想、その他、自由にお書きください。

今年の意見広告は、「私にとって憲法9条は…」この問いかけで、購読者の皆さんに「…」を書き入れて頂くことで完成するというコンセプトです。私たちの思いは中央の若い二人が語っています。賛同して下さった方々から寄せられた言葉は、それぞれのパネルに込め、購読者、とりわけ若いみなさんに、「私にとって憲法第九条は…」と書き入れて頂くために、私たちのメッセージにしたいねと話しました。

在日米軍の駐留経費の今年の予算を提示しました。軍事にこれだけの予算を割くことは、税金の使い道としていいのだろうかとも、疑問をもってほしいと思いました。そして、ピースデポの湯浅一郎さんのご協力を得て、国際的な比較のグラフを掲載しました。日本が米軍へ出したお金、サマワへの陸自派遣、インド洋での給油で平和になったでしょうか？ 武力で平和は作れないことが明らかで、できれば納税者として「軍事力に税金を使わないでという声を上げていきましょう」という強いメッセージにしたいと考えました。

先日、世話人で話し合い、活発な感想、意見が出たのは、意見広告の「目的」についてでした。具体的には「私にとって憲法第九条は…」というタイトルが問題になりました。意見は…

- ①今年の掲載誌は読売新聞(大阪本社版+山口県)のため、様々な意見の違う購読者がいる。最近、話題の環境問題や、子育ての紙面を読む若い購読者に見てもらい、憲法についても考えてもらいたい。

2010年度の8・6新聞意見広告には、1,358件、総額301万円の賛同金が寄せられました(8月末現在)。賛同人数は1,691人でした。今年も全国各地から多くの皆さんから熱意をこめた賛同をいただき、大変ありがとうございました。意見広告料の支払いは308万8千円、そのほかの紙面制作費、印刷費、運賃、通信費などを含めた支出は総額359万5千円となりました。残念ながら、賛同金収入に対して58万5千円の不足となりましたが、この不足分は、昨年度からの繰越金で補填させていただきます。

2010年9月6日 会計担当 佐々木孝

それに対して、

- ②私たちの考え、賛同者の思いを表すタイトルを、いつものように大きく出した方がよかった。
- ③考えてもらう意図はよいが、サブタイトルで「憲法9条は希望」というような確定的な答えとなる私たちの考えを出してもよかったのではないか。
- ④意見広告はこちらの考えを示すものであり、意見広告で、購読者の考えを聞くなんてナンセンスだ。

このように活発に意見が出てきました。私たちは、毎年、その年のメンバーで一生懸命に取り組み、紙面も作るので、毎年毎年が、とても新鮮です。しかしやはり皆さんからも意見をお聞きしてみようということになり、返信して頂くためのハガキを同封しました。

今年は、賛同者が200人、賛同金が35万円、昨年より少なく、改憲をめぐる情勢を含めて分析が必要かもしれませんが、今後も、8・6新聞意見広告を続けていいのか、迷い、躊躇してしまいます。しかし今年で14回目、勝手にやめていいのか、そういうことも真剣に話し合いました。

- ・8・6新聞意見広告への毎年の参加を、心待ちにしてください。いる方々が、確実にある。
- ・それぞれの取組みや仕事、生活に忙しく、改憲反対の意見表明の場と思って下さる方々がある。
- ・様々な立場の平和のスポンサーが、同じ紙面で一緒になって思いを共有することは、大変心強い。
- ・参加を呼び掛けるプロセスが大切。人とのつながりが大切で、それを断ち切ることにならないか。
- ・毎年、多くの購読者の目に触れ、東京の永田町にヒロシマ発信の新聞を届ける意味は大きい。

掲載紙は、読売新聞大阪本社版252万人 山口県5段18.7万人、毎日新聞東京都心版31.8万人 計約300万人に届けることができた。(昨年は、中国60万人、山口朝日13万人、東京中央3区5万18万人 計約90万人) 違う考えの人にも私たちの意見を届けることができた。今年の「購読者、とりわけ若者に考えてもらう」という紙面づくりも、すぐに結果が出なくても、これはこれでよかったし、費用対効果をすぐに期待するのではなく、意義があったと信じていたからこそ、今年も頑張れたのだと思います。最後までやり遂げることができたのも、皆さんのおかげです。しかし、私たちの思いは届いたのでしょうか？ 本場の反応は20年後、もっと後かもしれない。ただ、そういう覚悟をして、今後も続けるのかどうかは、皆さんからのハガキをみて、継続審議です。

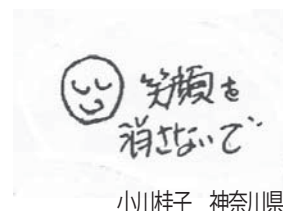
なお、紙面の関係で、あれもこれもと欲張ることもできず、多くのメッセージが掲載できなくて残念です。寄せてくださったメッセージは、次ページを是非、ご覧ください。

# 皆さんからのメッセージ

- ☆ 憲法を生活の中に!! 九条の会・広島県北 広島県
- ☆ 九条実行、日米同盟離脱、民間ボランティア派遣倍増、東国裕 広島県
- ☆ 殺すべからず 殺されるべからず 東道成・東真喜子 福岡県
- ☆ 九条を守らねば平和はない 新井愛子 神奈川県
- ☆ 私にとって憲法9条は、守らなければならない、大切な未来への宝物。有田智樹・有田優子 広島県
- ☆ 父親は広島出身。私も78歳。いつまでも続けたい。飯塚正人 愛知県
- ☆ 軍事費を大幅に削減させたいです。石田弥生 東京都
- ☆ 今こそ「平和」に向けての一歩を!! 石原清美 広島県
- ☆ 人生の指針。戦争のない平和を世界につなぐ宝物 泉真沙子
- ☆ ありがとう第九条!! 井上真紀子 東京都
- ☆ 空気のようなものです 井上豊 広島県
- ☆ 憲法9条は日本の誇り 井原俊博 広島県
- ☆ 核兵器廃絶と憲法9条を、いついつまでものこしていきたいものです。  
岩下健一 東京都
- ☆ 憲法9条、世界の宝 岩瀬房子 東京都
- ☆ 鳩ポッポ 遺したものは 反安保 010年安保を起こそう! 長野県
- ☆ 今、できることを考えて、行動したい。I・Y 大分県
- ☆ 核廃絶」を訴える時、私たちの戦争責任も明確にすべきです。K・K 神奈川
- ☆ 現実の世界を9条に合わせよう! 0・1 東京都
- ☆ 九条は世界平和への希望の光。69才。T・T 大阪府
- ☆ 第9条は日本人の誇りです W・K 大阪府
- ☆ 核廃絶がなければ地球が亡ぶことを、世界中の人々に認識してもらいたいです。岩本恵子 広島県
- ☆ 私達の子どもの子どもの子どもの…の為に大切な9条 植木衆 岡山県
- ☆ 子どもたちへの責任 上野哲 栃木県
- ☆ 再び戦争に巻き込まれる側にならないためには、憲法を日常に使いこなすことが私たちの責任 上原公子
- ☆ 「いのち」「くらし」の守り神 上原四郎
- ☆ 兵器は人を殺す 平和は人を生かす 宇佐美睦朗・宇佐美節子 広島県
- ☆ 世界平和のための真理 内山智貴 福岡県
- ☆ 人類の宝 未来の世代の為に最高のプレゼントである。榎本和枝
- ☆ 基本的人権です。太田裕 三重県
- ☆ 現実の世界が目指すべき目標です。憲法を変えることは、改正ではなく、改悪になります。大月 郁夫
- ☆ 良い戦争はない。良い兵器もない。大西信恵
- ☆ フルMOXの大間原発にも反対を! 大場一雄 北海道
- ☆ 私にとって憲法は現憲法は真の人としての生のため 絶対変えさせない 岡田信也 香川県
- ☆ 核のない世界の実現を一日も早く! 岡田スマ子 広島県
- ☆ 自分と国民との安寧を維持する最たるもの 岡村達郎
- ☆ 花と楽器を愛する心こそ、不戦平和への道 岡村達郎・田中温子 大阪府
- ☆ 改憲反対、平和憲法を守るためには、今は大変、大切な時です。頑張りましょう。小川敏子・牧子 埼玉県
- ☆ 理想の『平和』から第9条が実現化する!! 小口卓也 東京都
- ☆ 私にとって憲法9条は人類をのせたノアの箱船である 小田切敬子 東京都
- ☆ 私にとって憲法9条は世界遺産にしたいもの。甲斐恵美子 東京都
- ☆ 脱原発 エコ発電で 明るい社会 兼綱國章・兼綱寿美子 広島県
- ☆ 9条なくして平和なし 加藤義正 広島県
- ☆ 明日の笑顔のために 金澤チヨコ・金澤見和 広島県
- ☆ オバマジョリティー、などとはしやがず、地道にやりましょう。加納実紀代
- ☆ 人類の指標、日本国憲法 河合成一 兵庫県
- ☆ 世界に誇るべき日本の宝です。川本澄枝・松尾晴彦 広島県
- ☆ 9条が法でないなら 何が法? (PN文明人)、岸恵子 佐賀県
- ☆ 花の輪で 世界をつなぐ 第九条 岸恵子 佐賀県
- ☆ 憲法九条は戦死者があがらないとってくれたもの 北村芳子 和歌山県
- ☆ 普天間『無条件撤去』沖縄の痛みを知ろう 傍観者になるな 声をあげよう! 木林佐和子 東京都
- ☆ 運動が成功しますように! 九条の会・宍粟 兵庫県
- ☆ 平和のスポンサーになれることに感謝し、大切な場をありがたく思います。  
共生舎 ならぬ薬局 東京都
- ☆ 戦争は人殺しだ! 9条は人を生かす。日本の宝、世界の希望の星だ。  
久保田昇 長野県
- ☆ 憲法は自衛官の命も守る? 久保博夫 神奈川県
- ☆ 九条を世界の宝にしていこう! チラシを送って下さい。久保りんご 東京
- ☆ 日本の防衛は市民の非暴力抵抗で 鞍田東 福島県
- ☆ 子どもたちの未来のために、九条はなくてはならない! 蔵並弘子 神奈川県
- ☆ 抑止力では平和はこない 栗木薫子・栗木耕作 東京都
- ☆ 改憲ではなく、憲法の実行を! 黒崎修 東京都
- ☆ 憲法とわれの重なる六十年 われより先に九条死ぬな 黒沼智 山形県
- ☆ 平和のシンボル。憲法をやみくもに改正するのではなく、憲法をいかす努力をしていこう! 後藤安子
- ☆ 武力で平和は作れない。齋藤修 静岡県
- ☆ 9条は命よりも大切。永遠に。齋藤邦泰 埼玉県
- ☆ 実質九条風前の灯。軍事費・思いやり予算こそ、尤も不要。よもや、60年・70年代に声を上げた昔・青年が、全員消えるのを待ってるワケじゃないでしょうネ、と苦笑し合いつつ、頑張る年金者。齋藤美智子 東京都
- ☆ 憲法9条は 子供を守る剣です。坂井章・記美子 広島県
- ☆ 未来へ、子や孫へ 繋いで行かねばならぬもの 坂井理恵 広島県
- ☆ 今こそ信じよう 人々の心 9条の心 坂健二 奈良県
- ☆ 9条は平和のシンボル、世界の宝! 坂本秀行・坂本郁子 千葉県
- ☆ 兵器産業をなくそう 坂本文夫・裕子 東京都
- ☆ 核のない世界をめざそう。チラシのポスティングできます。佐藤晶子 東京
- ☆ 公務員は憲法を守る義務がある 佐藤周一 広島県
- ☆ 共に食卓を囲む地球家族でありたい。佐藤待子 岡山県
- ☆ 真の平和を求めるには『覚悟』が要ります。澤嶋真紀子・澤嶋茂夫 大阪
- ☆ 戦争で失う物や失う事を考え数えてみましょう。澤野四郎・正子 広島県
- ☆ 憲法九条は世界の宝もの! 島あけみ 千葉県
- ☆ 世界の宝もの!(基地と原発は人類が生み出した最大の危険物) 島あけみ
- ☆ ガンジーに学ぼう。日本に外国の軍隊は要らない。清水諦観 広島県
- ☆ 憲法9条は世界の希望 性9条の会・ひろしま 広島県
- ☆ 憲法9条は日本国民としての喜びであり、誇りです。白井千也 広島県
- ☆ 殺さない 殺させない 城山大賢 広島県
- ☆ 平和がすべて 菅香代子 広島県
- ☆ 九条=こどもの未来 菅茂樹・みゆき・こゆき・惇 広島県
- ☆ 希望を失わず 理想をあきらめず 日々を過ごしていきたいものです。  
鈴木聖幸 広島県
- ☆ 死守すべき第9条、活かしてこそ第9条 隅まり・祐之 東京都

☆ 九条を棄てて喜ぶのは誰？ 瀬戸口正博 鹿児島県  
 ☆ 第九条が体现される国になりますように。 高岡純子 福岡県  
 ☆ オリンピックもオバマ来広も反対ですが 九条は大切 田川禮子 広島県  
 ☆ 憲法九条も非核三原則も共に守り実現しよう 合掌 武田隆雄 東京都  
 ☆ 武力による平定ではなく非暴力による豊かな共生の構築を！ 田中暉彦 香川県  
 ☆ 日米安保やめよう！ 九条2項違反だから。 樽美政恵 大阪府  
 ☆ 祖父母、母、子、憲法九条の誓いを守り続けます。 辻村玲子 広島県  
 ☆ 武力は相互破壊 対話は相互理解一自ら動けば、平和は得られるー  
 當田英明 広島県  
 ☆ 理想を高く掲げて、現実論と、話しあいましょう 戸川知子 広島県  
 ☆ 日本から世界に広がれ！ 憲法9条 仲兼久遊美・仲兼久柁 東京都  
 ☆ 発言し続けることが大切です。 中川健作  
 ☆ 九条は、アメリカが日本に与えてくれたものですが、いいことだと思います  
 ので、九条は守っていかねばならない。 中島一 岡山県  
 ☆ 岡山は広島のとおりです。がんばって！！ 中島一 岡山県  
 ☆ 名前は載らなくてよい 田中宏亮 東京都  
 ☆ 民主党菅代表のウソに負けないぞ！ がんばりましょう 中西仁郎 北海道  
 ☆ 憲法9条をアメリカにも！ 中道朋子 北海道  
 ☆ 日本のモノサシです。加除訂正全く不要!! 中村勝 新潟県  
 ☆ なし崩しの改憲NO 今だから護憲 中村信義 兵庫県  
 ☆ 沖縄基地をすみやかに撤去することを要求します 中屋正仁 山口県  
 ☆ 憲法9条+25条を大切に政治を！ 永山良樹・京子 広島県  
 ☆ 憲法9条は、憲法公布の年に生まれた私の支え、同伴者。 成田強 北海道  
 ☆ 憲法9条、25条、日本中、世界中に活かしましょ。 新 山一男 愛媛県  
 ☆ 13条、20条、25条の大切さを想起させます。 西浦 紘子  
 ☆ 普天間にも岩国にもどこにも基地は要らないと確信させます。 西浦 紘子  
 ☆ 戦争のない世界を心より願っています、 西家美智代 岩手県  
 ☆ 生きていくための基本です。土台です。 西川恵子 広島県  
 ☆ 百歳好！九条 西川治郎 大阪府  
 ☆ 65年、戦争の悲惨さを知る人が少なくなりました。平和の続くことを祈り  
 ます 西茂子・伊藤洋子 東京都  
 ☆ 生命です。安心・希望・幸福の根源です。 野尻賢二  
 ☆ 核廃絶を祈ります。 野村晋一 東京都  
 ☆ 憲法は日本軍の存在を許さず。外攻米軍も不可、真の国連軍はOK  
 野村光司 東京都  
 ☆ 戦争は人殺しです。そんなことがない平和な世界を心から願っています。  
 長谷川薫 岡山県  
 ☆ 憲法9条は世界の宝 長谷部光子 広島県  
 ☆ なくそう戦争！広島から発信の世界平和は永久ノンストップ便！  
 花ノ木清子 広島県  
 ☆ 殺さない 殺されない 殺させない 東良江 奈良県  
 ☆ 九条は平和の種だ 世界へ送ろう 日方ヒロコ 愛知県  
 ☆ 生命を守る医師・歯科医師は戦争に反対し、憲法九条を守ります  
 ひろしま医療人・九条の会 広島県  
 ☆ 憲法9条は数多くの犠牲の上に生まれた誇るべき財産であり、世界平和の道  
 標となるもの。9条を守り行使していくことは、私たちに与えられた未来  
 への使命です。 ひろしま医療人九条の会 広島県  
 ☆ 憲法九条は大切です。 広島市教職員組合（新市教組） 広島県  
 ☆ 正義の戦争など絶対ない 福井隆夫・幸子 奈良県  
 ☆ 9条は絶対守れ 福井隆夫・幸子 奈良県

☆ 反戦を訴えた『濱口國雄詩集』（土曜美術社）が出ました。 福田玲三 東京都  
 ☆ 九条を1条へ 福本喜一郎 千葉県  
 ☆ 核兵器持ち込み絶対不可 永遠の平和希望 藤井淳子・藤井和治 東京都  
 ☆ ノーベル平和賞を被爆者団体に、今年こそ！ 藤岡惇  
 ☆ 世界が平和でないと、福祉は成り立たない。 藤岡耕二  
 ☆ 核廃絶は地球全体の幸せです。 藤木香代子 神奈川県  
 ☆ 世界の平和を願う 憲法九条！ 藤村美登里 広島県  
 ☆ 私にとって憲法9条は不戦の誓いです 古 屋敷一葉 愛知県  
 ☆ 愛です（9条は日本が世界に誇れるもの） 本田都南夫  
 ☆ 希望そのものです 牧野直子・牧野洋子 大阪府  
 ☆ 第九条は世界の宝 松浦住一 兵庫県  
 ☆ 僕は戦争も暴力も反対だ。憲法九条は変えてはいけません。僕は護憲派だ。  
 松藤富隆 広島県  
 ☆ 九条は昭和の戦争でゲイになった方々の命。せつたい守らなければなら  
 ないと思います。 三浦恵美子 山形県  
 ☆ 9条でつながろう、 向井好美 広島県  
 ☆ 私にとって憲法9条は命の糧・歴史への責任 元木ちえ子 三重県  
 ☆ 私にとって憲法9条は 21世紀世界標準の平和と生存の基本です。金に  
 われた社会の末路こそ戦争であり、その犠牲者なのです。森田幸宏 東京  
 ☆ 実現するその日を信じNO DU NO WARの夢を皆で歩いていきましょう！  
 森田留美 大阪府  
 ☆ 日本国憲法の要（かなめ）となるものです 森本栄二 愛媛県  
 ☆ 九条は人類の宝です。 森山薫・森山ひさ 東京都  
 ☆ 平和を造ろう 憲法九条よ、鋤となれ！鋤となれ！、柳田きぬ 兵庫県  
 ☆ 私にとって憲法9条は 平和実現のための心 山内正之・山内静代 広島県  
 ☆ 改憲手続き法を始動させないために、共に力を合わせましょ。  
 山口たか 北海道  
 ☆ 少ない年金にみあった額しか、振り込めないのが残念です。貴会の運動に  
 敬意を表して。 山本日出夫 東京都  
 ☆ 核兵器も原子力発電もやめよう。 山脇哲子 東京都  
 ☆ 第9条 世界に輝く 希望の宝 湯元睦美 大分県  
 ☆ 参院選で護憲派候補の勝利を！ 許すな！憲法改悪・市民連絡会  
 ☆ 私にとって9条は戦争に殺された人々との約束です。 吉田達也 神奈川県  
 ☆ 私達の平和は、自衛隊ではなく、九条によって守られているのだ。  
 吉永愛子 東京都  
 ☆ 九条を大切な人に残したい。NO『核兵器』 吉野登喜子・岡田スマ子 広島  
 ☆ 憲法9条はわたしの宝、 吉原美玲子・吉原克弥 広島県  
 ☆ 憲法9条は、私たち未来へつなげる命の源です。 吉光成美 広島県  
 ☆ 市民運動が政治を変えるとき。 利元克己 広島県  
 ☆ なによりも大切な願いです。戦争と植民地政策で近隣の国に苦痛を与えた  
 私達の国だけに、どうしても繰り返してはいけません。若草豊子  
 ☆ 『基地をなくす』は憲法実現の途 脇義重 福岡県  
 ☆ 九条は世界の宝 渡口差知子・渡口光喜 大阪府



小川桂子 神奈川県



澤田及子 広島県

# 経済産業省、上関原子力発電所原子炉設置許可に係る委員にハガキを送ろう！

## 上関原発中止への思いを伝えるために…

上関原発止めよう！広島ネットワーク

上関原子力発電所（以後上関原発）建設の反対署名が全国から届けられ、5月10日に経済産業省に85万筆以上の署名が渡されました。中国電力株式会社（以後中国電力）が運営している島根原発は511カ所の点検漏れや機器の未交換が判明し、1号機、2号機が3月31日に停止したまま、いまだに運転が開始されていません。中国電力は上関原発を建設する資格があるのでしょうか。

上関原発には下記のような問題もあります。

上関原発予定地の田ノ浦が埋め立てられると、小魚のゆりかご、希少生物の宝庫の入江が消失し、近海の漁業（特に祝島）への影響は計り知れません。祝島の人たちは原発に依存しない、自然とともに自立した生活を子ども達に残したいと、28年間も上関原発建設反対運動を行っています。

上関原発からの温排水による海の生態系の破壊と放射能汚染、中国電力と上関町住民の多くの裁判、祝島・地域住民の根強い反対、カムリウミスズメや環境影響評価の再調査要望等、多くの未解決問題があります。又、上関原発の炉心予定地から280～300メートルのところ4名の居住者が通常の生活をしています。原発が建設されると祝島や近隣の人たちの生活権が脅かされ、事故や運転時の放射能による被害が及ぶ事が考えられます。

中国電力は2009年12月18日に、経済産業省に上関原子力発電所原子炉設置許可申請を行いました。経済産業省は専門家の委員から「上関原子力発電所原子炉設置許可申請」

への意見を聴き、審査を終え、その後、原子力安全委員会での第二次公開ヒアリング、原子力委員会の答申を得て、文部科学大臣同意のもとに原子炉設置許可が中国電力に下されます。

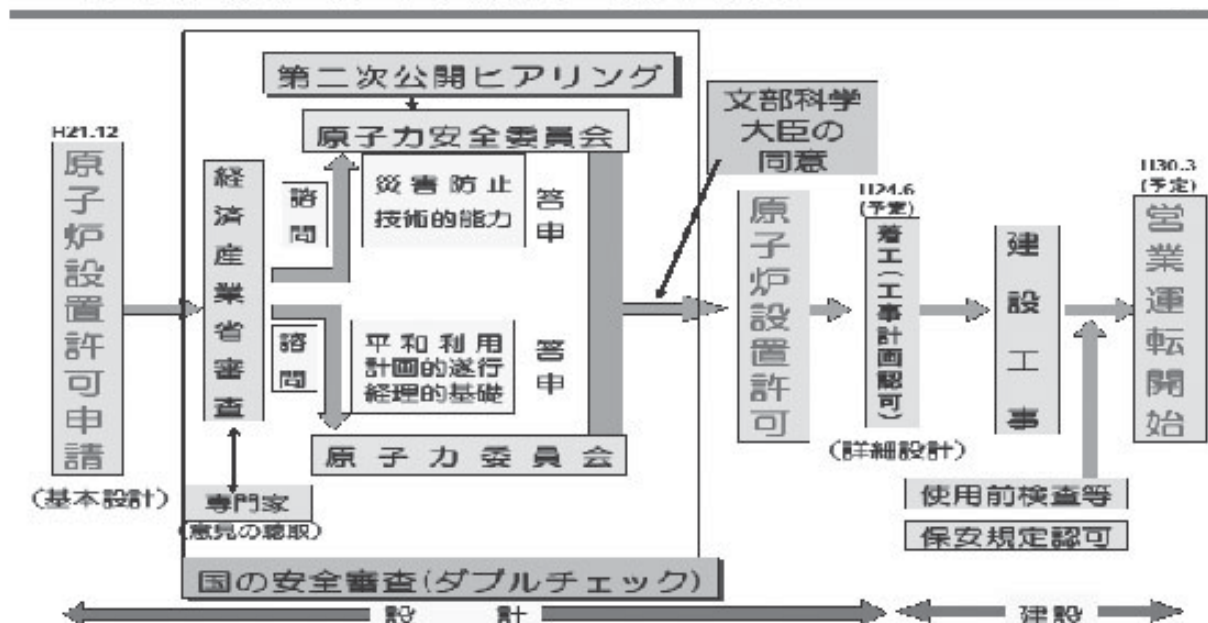
各委員の方に上関原発の実態等を知らせ、予定地田ノ浦が埋め立てられないように、上関原発が白紙撤回されるように、責任ある発言をされますようにと葉書や手紙で思いを伝えましょう。ご協力をお願い致します。

連絡先：082-922-4850 FAX：082-922-4852（木原）



上関田ノ浦で座り込み抗議する祝島・支援する人々（溝田一成さん撮影）

## 原子炉設置許可申請後の諸手続き



みなさま こんばんは 9月9日23時

山口県上関 原子力発電所建設計画現地から岡田です。

現在、現地田ノ浦に向けてクレーン台船・浚渫台船が複数の引き舟に引かれて、移動しています。下請け会社へ抗議の電話をしたときに、確実に田ノ浦に向かっていることが分かりました。

10日の朝8時から陸上での工事も行われるという情報も入りましたが、これから、またはじまると思います。

瀬戸内海に長島の手ほど豊かな場所はありません。仮に、一台でも台船が入り、土砂を入れてしまうと、瀬戸内海最後の命の海が永遠に失われることになってしまいます。透明度が15メートルを超えるこの海は、少し潜るだけでものすでい魚の数・スナメリ・ナメクジウオ・本当にすばらしい命の海です。これが、どうなるかは今の私たちの行動にかかっています。祝島の島民・現地にいる若者をはじめ、現地で必死に意思表示をしています。各地の人たちもそれぞれの立場から意思表示を続けています。

【緊急】 山口県 上関原発問題続『上関の海が危ない！』

中国電力が台船を動かしました！ 20時(9月9日)に周防大島の小松開作を出港、約6時間後の深夜2時ぐらいに上関原発建設予定地に着く予定と思われます。中国電力はやはり祝島島民や全国の多くの声(今年5月には85万を超える署名を国に提出)を無視したやり方で埋め立て工事を進めようとしています。今日は、中電が祝島島民やシーカヤッカーら4人に対して起こした4800万円の損害賠償請求の裁判がありました。10億円を超える補償金を受け取らず、これまでの生活を続けたいと願う島の人たちにさらにお金を払えと、脅すやり方です。

今回は、皆さんがブログに転載したり、抗議の声を届けるなど、アクションを起こしてくれたおかげで、台船の動きを少し遅らせたのかもかもしれません。ありがとうございます。引き続き、上関原発のゆくえを見守り、多くの声を届けてほしいと思います。市民の力で平和な社会をつくれると信じています。ぜひ口コミ、ブログやツイッターなど市民メディアで伝えてください！  
現地・田ノ浦に来れる人も大歓迎です。

## 上関原発止めよう!! 田ノ浦の海を守ろう

映画「祝の島」パンフより

# 祝の島

◆祝島島民の会blog

<http://blog.shimabito.net/>

◆最新情報はUrauraNewsにまとめてアップされます。

<http://iwajima.jugem.jp/>

岡田和樹さんのメールより

山口県上関町での原子力発電所計画予定地から昨日

緊急メールを発信した後に、祝島漁師さんと意思表示をしに行きました。ひとまず中電は引き上げました。

中国電力職員乗り組み船×3隻 クレーン台船×1隻 浚渫台船×1隻 けん引船×4隻 その他2隻の船団が夜中に動き始めました。

18:10 作業台船が停泊している周防大島へ様子を見に行く

18:30 クレーン台船に作業員が沢山乗り込むのを確認

20:08 作業台船が周防大島を出発

23:30 祝島漁船1隻が出発

24:00 中国電力の台船と田ノ浦現地から18キロほどのところで遭遇  
田ノ浦現地では、祝島漁船12隻ほどが待機 陸でも座り込み待機

1:00 中国電力が中止すると宣言

3:30 中国電力の作業船が田ノ浦現地には行かずすべて引き返した  
現在、祝島の島民40人とカヤッカーが現地で座り込み中です。

抗議の声を届けて下さい！

中国電力 TEL 082-241-0211

FAX 082-523-6185

HPに メールフォームもあります。

中国電力上関原発準備事務所

TEL 0820-62-1111

山口県知事 TEL 083-933-2570

FAX 083-933-2599

HPにメールフォームもあります。

STOP！上関原発メンバーより

今、田ノ浦は本当にピンチです

駆付けてくれた皆さん、本当にありがとうございます。抗議の声を届けてくれた皆さん、本当にありがとうございます。

伝えてくれた皆さん、本当にありがとうございます。動いてくださった皆さん本当にありがとうございます。

多くの方々が毎日田ノ浦に来てくださる限り、原発が作られることはないでしょう。

けれど、現場にいる人数が少なくなったり、夜間も誰も気をつけていなければ作業を一気にやってくる可能性は高いと思います。

いつも思うことですがいつも現場にいる人間だけでは作業を延ばすことはできても、解決することは難しいと感じています

現場に来れないけれど様々な立場の方々に意見を伝えてくださったり、この事実を広めてくださったり、新しい解決策のアイデアを出し合い実行したり、その人それぞれにしかできないことを繋げていくことの積み重ねに希望を感じています。

# ベトナム・カンボジア学習の旅

栗原君子

広島県内各地から16人でベトナム・カンボジア学習の旅に参加しました。いちばんの目的は「少数民族保護政策」について学習をすることでした。

最初に人口700万人のベトナム・ハノイを訪問しました。ハノイ空港から市内中心部までの道すがら、先ず、驚いたのは街に活気があること、同時にバイクの数の多さでした。信号機も無い大通りをアスファルトの地面が見えないほどのバイクの数です。バイクの荷台に生きた豚を縛りつけて運んでいる人、竹籠に生きた鶏を7羽ぐらい入れて市場に売りに行く



人など様々です。定員制限はないのかしら？ 2~3人乗りはあたり前、親子4人が一台のバイクに乗って走っている姿も見られます。市民にはバイク=ホンダであって、何処のメーカーであろうとも彼らにとってバイクは全て『ホンダ』なのです。

ベトナムの人は勤勉で親日家が多いと聞きます。それもそのはず、日本の自動車や電機、建設、セメントなどの大手企業が軒並みのように安価な労働力を求めて進出をしています。日本円でひとり2万~3万円払えば幾らでも労働力が確保できるのです。日本国内で100円ショップを展開している事業所も製品はベトナム人に作らせ、逆輸入していることも解りました。大手のカメラ会社は中国で操業していた工場を閉鎖し、ベトナム国内3ヶ所に、それぞれ数千人規模の労働者を雇ってコピー機の製造をしています。他にも多くの日本企業が進出し、私たちが口にする菓子や漬物、焼酎なども製造し日本に送っています。

ベトナムの人口は8600万人、面積は33万平方キロメートル(日本の九州を除いた位)の広さに石炭などの鉱物資源、木材、農産物に恵まれた国です。年金制度がないうえ、2人っ政策のため親は年老いたとき、子どもに頼りたいので3人は欲しいが、3人目を産むと罰金を払わなければいけないとっていました。

飛行機から見ればよく解りますが、ハノイ市周辺で、そこらが溜池と思うほどに、溜池が多いことです。説明によるとベトナム戦争の時、米軍が投下した砲弾の跡に水が溜まり、そのまま溜池になったそうです。ベトナム戦争では300万人~500万人のベトナム人が死亡、それに対し、米軍は58116人(米国発表)が亡くなっています。私は米軍によって多く

の犠牲を強いられた市民の感情が気になり「市民の中には反米思想の人が多いのでしょうか？」と聞くと「戦争を知らない若い人には米国に対しての違和感はないようです」「国としても米国の同盟国と友好関係を深めることが重要なのです」という返事が返ってきました。1975年に10年間続いたベトナム戦争が終わりました。その当時、市民のために活躍し信頼されていたのが共産党であったために、それ以来、ベトナム共産党の単一支配が続き、社会主義国としての道を歩んでいます。現地のガイドは「ベトナムは社会主義国家といいながらも国の財政が厳しくて、福祉にお金を賭けることができないのです」「むしろ、年金や医療、教育が充実している日本こそ、社会主義国家だと思います」といわれました。私自身、日本が社会主義国とは思いませんが、そういう見方をしている人がいることに驚きました。

今回の旅の目的である『ベトナム少数民族保護政策・学習会』はハノイ市内の民族資料館の会議室でおこなわれました。国内で54の民族中、半数は人口・千人~1万人(少ない所は137人のところもある)の民族であり、人口100万人を超えるのは5民族、また、38の民族は独自の文字や文化を持っており、学校でも民族教育がされています。「ベトナムに住む民族はその文字を保護する」と法律でも規定しています。現在、17の県で小・中学生に彼らの民族語を教えています。子どもたちを教える力量ある教師を育てることが大きな課題です。少数民族に対する優遇政策のなかには、学費や給食費の無料化、無試験で入学させるなどしているといっていました。政府としては、彼らに自分たちの文化が誇りあるものだとして自覚してもらうためには、どのような取り組みをするかが大きな課題であると言っていました。それでも子どもたちは高校や大学進学で都市に出ると少数民族のところには帰らないようです。さまざま考えさせられた旅でした。

第九条の会ヒロシマ世話人



ホーチミンの広場前

ハノイはバイクでいっぱい 活気があります。



# 岡本非暴力平和研究所

## 1) 講演会

日韓・日朝関係の過去・現在・未来—韓国併合100周年を問う  
10月3日(日) 3:00-5:00pm 原爆資料館地下会議室2  
講師 李実根さん(在日本朝鮮人被爆者連絡協議会会長)  
主催 岡本非暴力平和研究所  
HANWA(核廃絶をめざすヒロシマの会)  
連絡先 082-848-9054 090-4805-1747 (岡本)

## 2) 読書会

原則として毎月第2、第4日曜日 午後2時~4時に行います。  
どうぞお気軽にご参加ください。  
場所は、岡本非暴力平和研究所(広島市中区大手町1-1-26 大手町一番ビル305  
メルパルク南向かい、赤煉瓦の建物)です。  
9月12日(日) 北朝鮮研究学会『北朝鮮は、いま』 岩波新書 前半 (終了)  
9月26日(日) 北朝鮮研究学会『北朝鮮は、いま』 岩波新書 後半  
10月10日(日) 高木仁三郎『市民科学者として生きる』 岩波新書 前半  
10月24日(日) 高木仁三郎『市民科学者として生きる』 岩波新書 後半  
11月 8日(日) 広河隆一『パレスチナ』 岩波新書 前半



8・6ヒロシマ平和へのつどい



8・6 ダイ・イン

## 活動記録

- 6月 2日 第九条の会ヒロシマ会報66号発送 世話人会⑤ 岡本平和研  
\*中国電力本社前 上関原発埋め立て工事抗議行動 11:55~13:00
- 15日 \*今こそ問い直そう日米安保条約 樺美智子さんの死から50年
- 16日 広島県9条の会ネットワーク会議 資料館地下会議室2
- 19日 九条の会講演会「井上ひさしさんの志を受け継いで」東京日比谷公会堂
- 23日 \*8・6ヒロシマ平和へのつどい実行委員会
- 29日 \*中国電力本社前 上関原発埋め立て工事抗議行動
- 30日 第九条の会ヒロシマ世話人会⑥ 岡本平和研
- 7月 2日 ヘルプハガキ発送1300通 広島市民交流プラザ  
\*中国電力本社前 上関原発埋め立て工事抗議行動
- 4日 \*上関原発止めよう!広島ネットワーク世話人会
- 7日 第九条の会ヒロシマ世話人会⑦ 岡本平和研
- 13日 第九条の会ヒロシマ世話人会⑧ 岡本平和研
- 18日 \*子どもの本九条の会講演会
- 21~22日 第九条の会ヒロシマ世話人会⑨ 8・6新聞意見広告名簿整理
- 23日 上映会「シロタ家の20世紀」相談会 女性九条の会事務所
- 25日 第九条の会ヒロシマ世話人会⑩ 8・6新聞意見広告名簿確認
- 26日 8・6ヒロシマ平和へのつどい実行委員会
- 28日 第九条の会ヒロシマ世話人会⑪ 8・6新聞意見広告紙面校正
- 29日 第九条の会ヒロシマ世話人会⑫ 8・6新聞意見広告全体構成確認
- 8月 5日 8・6ヒロシマ平和へのつどい 広島市民交流プラザ
- 6日 8・6新聞意見広告コピー3,000枚配布 原爆ドーム前  
グラウンドゼロのつどい ダイ・イン ノーニュークス・ウォーク 中電前行動
- 7日 上映「シロタ家の20世紀」と藤原監督のお話 Weプラザ
- 9日 8・6新聞意見広告コピー発送
- 18日 \*中国電力本社前上関原発建設抗議行動
- 25日 第九条の会ヒロシマ世話人会⑬
- 27日 広島県9条の会ネットワーク会議
- 9月 1日 \*中国電力本社前上関原発建設抗議行動
- 4日 \*上関原発・埋立抗議1周年集会田名埠頭
- 11日 \*911事件-アフガン戦争-イラク戦争を検証する9周年集会



8・6 ノーニュークスウォーク 原爆ドーム前から中電へ



田名埠頭に祝島漁船とカヤック隊が集結 ピースリンク平和船団も参加



◆「九条の会」憲法セミナー in 松江

10月30日(土) 13:30~16:30 くにびきメッセ
「核のない平和な世界と憲法9条」
講演:平岡敬さんと高遠菜穂子さん
問合せ:03-3221-5075 (九条の会事務局)

◆九条の会・はつかいち第6回総会・記念講演会

10月17日(日) 14:00~16:30
廿日市市商工保健会館交流プラザ 参加費:500円
記念講演講師:平岡 敬さん(広島マスコミ九条の会代表)
落語:安産亭徳丸さん

主催:九条の会・はつかいち
連絡先:090-3373-5083(新田)

◆戦争遺跡探訪ツアー 第2回 宮島・室浜砲台跡地

11月27日(土) 10:00~14:00
集合場所:宮島棧橋(フェリーで渡った所)
参加費:300円(高校生以下と障がい者は無料)
持参物:弁当、飲み物、雨具(小雨決行)
\*保険のため11月24日までに予約が必要
問い合わせ、連絡先:090-1183-4202(西田)

◆「九条の会・三原」発足4周年記念講演会

11月7日(日) 14時~ 三原市中央公民館2階中講堂
参加費: 資料代500円
講師: 中北 龍太郎さん(弁護士、九条の会・大阪サポーター他)
(著書「国家非武装の原理と憲法九条」「今こそ平和憲法を守れ」他)
主催: 九条の会・三原
連絡先:日本基督教団三原教会 0848-62-5929(真田)

- 9月18日(土)元日赤従軍看護婦「守屋ミサさんのお話を聞く会」13:30~
廿日市あいプラザ 主催:廿日市 戦争を語り継ぐ会 後援:九条の会・はつかいち
9月23日 ひろしま医療人・九条の会講演会 13時~広島市民交流プラ
9月23日 ピースフェスタ in 牟婁呼蔵(三次) 13:00~九条の会・広島県北
9月26日 「祝の島」上映 14:00~1 イコール福山(男女共同参画センター)
主催:広島県保険医協会(082-262-5424) 無料
9月26日 外国人住民基本法制定を求めるキャンペーン2010 14:00~広島教会
10月30日(土)呉九条の会連絡会 講演:井原勝介さん14:00~呉市民会館

お詫びと訂正 前67号に大きな間違いが2件ありました。
①4ページ 執筆者横原由紀夫さんのお名前が不掲載でした。
②10ページ 利元克巳さんの原稿の領海問題の「速度規制」とあるのはc
速度ではなく領海設定そのもの問題でした。
大変申し訳なく思っています。訂正と共にお詫び申し上げます。

事務局から

・8・6新聞意見広告2010は皆さまのおかげで掲載することができました。合わせて会費・カンパも有難うございました。会費はタックシールに記載していますので、まだの方は今年も引き続き、会費をお願い致します。もし間違いがありましたら遠慮なくお問合せ下さい。
・今回は、8・6新聞意見広告を今後どうするか、検討するため、皆さんからご意見、ご感想をお寄せいただくハガキを同封しています。50円切手を貼って頂くのは申し訳ないのですが、よろしくお願い致します。

後記

・911事件が起きてから9年がたつ。検証をして、アフガン戦争、イラク戦争を日本が見直すようもってはたらきかけなければ。安保懇報告が、そのまま防衛大綱に反映されないように。 F
・ハンゲルは、とてもきれいであたたい。日本のしたことをとても申し訳ないと思う気持ちと、でも仲よくしたいという気持ち、それがハンゲルで表せるといいな。市民がつながるしかないのですから。 S
・慰安婦問題も、野党の時は、立法解決をあんなに頑張っていたのに、今になってなかなか進みません。やっぱり市民が声を上げ、動いていくしかないですね。署名をよろしくお願い致します。 D
・今度こそと思いつつ、編集ミスをしてしまう…。お詫びと訂正を書き入れました。本当に申し訳ありません。 F
・岩国では米軍基地の軍属が愛宕山の住民を死亡させる事故が起こり、上関では、中電が埋め立て工事を強行に進めようとしている。この会報編集で、行動に参加できなかったのが残念。でもお知らせも行動の一つ? F
・今年は暑かった! 家族が変わりばんこにへっって大変でしたが皆さんはいかがでしたか? これからも残暑が続く、その後、夏からいきなり冬になるとか… どうぞお体だけは大切になさってくださいね。 N

■アフガニスタン攻撃開始 9周年国際統一行動
10月9日~17日 ピースウィーク連帯

10月11日(月祝) 10:00~ 平和船団 (呉・潜水隊基地)
11:30~ 海自呉総監部申入れ
15:00= シール投票予定 広島(場所未定)
主催:ピースリンク広島・呉・岩国

武力で平和はつけれない—もう一つの日米関係へ

10月17日(日) 集合13:00 東京芝公園
パレード出発14:30(雨天決行) 麻布三河台公園(解散)
主催:10月「ピースウィーク」2010・東京実行委員会
連絡先:ピースポート:TEL: 03-3362-6307
許すな!憲法改悪・市民連絡会 TEL:03-3221-4668



■上関原子力原子炉設置許可申請の検討会
第1回—原子炉設置許可申請を読む

9月23日(木)13時~17時 国際会議場3F 研修室3
・原子炉設置許可申請の概要(木原省治)
・第1回(2010年3月16日)意見聴取会公開の傍聴をして(溝田一成)
・地質、地震(専門家から)現地調査 etc...
主催:脱原発へ!中国電力株主行動の会 連絡先:082-927-6062(溝田)

■「性暴力をめぐる意見交換会—ドイツからのゲストを迎えて」

9月25日(土)18:00~ ひろしま女性学研究所3階 参加費 無料
ゲスト:レギーナ・ミュールハウザーさん(ハンブルク社会研究所研究員)
「第2次世界大戦中のドイツ軍の性暴力・軍買売春問題」
主催:広島女性学研究所 連絡先:082-221-0266 kazokusha@enjoy.ne.jp

■性暴力を考えるための基礎講座&シンポジウム

- ①10月2日(土)14:00~17:00 広島市中央公民館
「性暴力を生む社会構造、性暴力をめぐる視線」
講師:周藤由美子さん(フェミニストカウンセラー)
②10月16日(土)14:00~17:00 広島市女性教育センター
「これまで性暴力はどう裁かれてきたのか」
講師:谷田川知恵さん(警報・ジェンダー法非常勤講師)
③10月23日(土)14:00~17:00 広島市女性教育センター
「性暴力被害ににあうということ」
講師:小林美佳さん(「性暴力被害ににあうということ」著者)

■シンポジウム「ジェンダー・国籍を問わない性暴力禁止法を！」

11月3日(水・祝)14:00~17:00 広島市女性教育センター
講演:鄭映恵さん(大妻女子大学教員ジェンダー学)
主催:広島で性暴力を考える講座実行委員会
連絡先:082-221-0266(広島女性学研究所)



★日本軍慰安婦問題の立法解決を求めます!
問題を次世代に持ち越すことなく、1日も早く法律を成立させ、高齢の日本軍「慰安婦」被害女性に心からの謝罪と償いを届けることを求めます。